



今年も本の寄付をいただきました  
『千手神社の寶 奉納俳句を読み解く』  
林篤子の「本のちから」(第3回)  
**蔵書点検のため休館します**  
**期間:6月10日(月)~17日(月)**



## こどもの読書週間イベント 開催しました

4月23日から5月12日までは「第66回こどもの読書週間」でした。今年の標語は「ひらいてワクワク めくってドキドキ」。読書の醍醐味のひとつであるワクワク感やドキドキ感を大切に、全国各地で本にちなんだ様々な催しが行われました。十日町情報館でも、本や読書をより楽しんでもらえるイベントや、事業報告などを行いました。イベントの様子をご紹介します。

情報館と川西分室、松代分室では、「みんなでつくろう 春のにわ」を開催しました。みなさんからお気に入りの本のタイトルや絵をちょうちょとクローバーのかたちの紙にかいてもらい、館内に飾りました。お友だちとワイワイと紹介しあいながら、また親子で相談しながら書いてくれている姿を見て嬉しくなりました。



返却機では、カウンターを通さずにセルフで資料の貸出、返却手続きを行うことができます。

どちらのサービスも既に利用している方からは「便利になったね」という声をいただいています。利用方法については、内容に限らず、カウンターの職員にいつでもお気軽にお問い合わせください。



「情報館の活動をふりかえる展」では、貸出冊数や利用者人数、予算などの統計や1年間の流れをはじめ、令和5年度の各種事業の報告を行いました。高齢者や福祉施設、学校やこども園などへのアウトリーチサービスなど、館外での事業も多数行っているため、ご覧になった方からは「情報館さんはこんなこともやっているのね、知らなかった」などの声もいただきました。

イベントにご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。情報館では今後もより便利なサービスを提供できるように努めてまいります。また、「こうしてほしいな」といったご意見があったらいつでもお聞かせください。



情報館活用術の説明会、「知ってほしいな 便利なサービス」(5/4、5/8、5/12)では、インターネットサービス、館内に設置しているセルフ貸出返却機の利用方法を中心にご説明しました。

インターネットサービスでは、お手持ちのPCやスマートフォン、タブレットなどを使って資料の予約、借りている本の確認、貸出延長などを行うことができます。また情報館内2か所に設置しているセルフ貸出



### インターネットサービス こんな時に便利!

※サービスを利用する際にははじめにパスワード登録が必要です。詳しくは館内配布の「ご利用の手引き」をご覧ください。

- いつでもどこでも、情報館のサービスを利用することができます。
- 予約資料の準備ができたら、メールで連絡を受け取ることができます。また、借りている資料の返却期限が近くなった場合も、メールでお知らせしてくれます。
- スマホに利用者カードのバーコードを表示できるので、カードを持ち歩かなくてもOK。



編集・発行／十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム

〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1 TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103  
「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にNPO法人となりました。



ホームページ



Facebook

おまちしています。



## 今年も寄付していただきました

2004（平成16）年10月23日に発生した中越大地震により、情報館ではスプリンクラーが破損し、水に濡れた約7,000点の本やビデオテープが廃棄処分となりました。このことに心を痛めたAさんは、翌年から、毎年情報館に本を寄付してくださっています。今年も次のような本をいただきました。

一般向けでは、感染症、災害、戦争など、世界情勢が目まぐるしく変化する時代において、諸外国の歴史や文化、日本を比較文化論的に考えるために参考となる本を寄付していただきました。比較的高額な本が多いものの、内容的に手に取りやすく、借りていただくこともできます。

児童向けでは、外国語教育やプログラミング教育に関する本をはじめ、様々な分野の調べ学習に役立つ本、また、昔ばなしや神話、長く読み継がれている良書を中心に、子どもたちが読書の楽しさを感じ取ることができる本などを寄付していただきました。

一般向けは2階新着コーナー、児童向けは1階新着コーナーと並べて設置しています。ぜひお手に取ってご覧ください。



## 6月のテーマ図書

### ■児童向け

#### きょうのてんきは？

『おてんきのあじ』、『じぶんでよめるそらずかん』など、天気になんだ本を紹介します。

#### おなかがへったよ！

『ラーメンがすすぎすて』、『ホットプレートよ～いどん！』など、おいしい食べ物が出てくる本を紹介します。



### ■一般向け

#### 家族

『家族と厄災』、『父がしたこと』など、家族のあり方を考える本を紹介します。



#### なに食べる？

『おとなの味』、『やっぱり食べに行こう。』など、食にまつわる本を紹介します。

## 新着地域資料

NEW

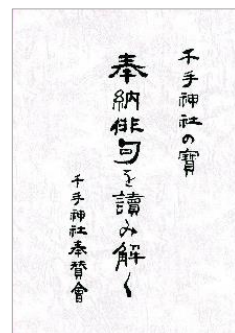
## 『千手神社の寶 奉納俳句を読み解く』

千手神社奉賛会 2024.3

ペリーが来航する3年前、江戸時代末期の1850（嘉永3）年に千手神社の拝殿に奉納献額された俳句152句が読み解かれ、このたび千手神社奉賛会により出版されました。

奉納に應じた俳句は6800句あまり。応募者の居住地は中条、水沢、新屋敷、十日町、室島、鎧坂などと地元のほか、近郊の地名も記されています。

解読や出版のきっかけは、第6・7回の大地の芸術祭で神社に隣接して作品が設置されたこと。大勢の来観者が神社にも立ち寄り、奉納俳句の意味を問われることが多かったからといえます。千手神社奉賛会の白井敏夫会長らは解読を思い立ち、気が遠くなるような作業を続けてきました。会長は、「紛争や原発、地球温暖化、コロナ感染症など我々は多くの問題を抱えているが、江戸時代から見ると、進むべき道筋が見えてくるような気がしてくる」と語っています。



スタッフによる日々の声をお伝えします

## ねえ、きいて 第45

木々の葉がどんどんと広がり、緑色が美しい季節になりました。屋間は汗ばむほどの暑さを感じるなか、田畑でさまざまな植物の苗が植えられ、すくすくと育ち始めています。

情報館では、農作物の生育過程での悩みごと、困りごとの参考になる、農業や家庭菜園、園芸に関する本はもちろん、農業関連のDVDも所蔵しています。映像で見れば、作業の様子もより具体的に分かりやすいのではないのでしょうか。おすすめDVDは、「直売所名人が教える 畑の作業コツと裏ワザ」シリーズ（全3巻）です。野菜がよく育つお得な作業方法を発見できるかもしれません。

ぜひご活用ください。（小堺）

## 雑誌スポンサーになりませんか？

雑誌スポンサーとは、企業や団体から情報館で所蔵する雑誌の年間費用を負担していただく制度です。スポンサーとなった雑誌の新刊カバー、書架などには、企業や団体名、広告を掲載することができます。雑誌のジャンルにより対象を選ぶこともできます。情報館で活動をPRしてみませんか？

新しくスポンサーになっていただける企業・団体を募集中です。詳しくは十日町情報館（025-750-5100）までお問い合わせください。







## 本のちから<sup>(3)</sup>

### ☆美智子さま『橋をかける』

赤ちゃんがお生まれになった方に、また、子育て真っ最中の方に、紹介している本があります。美智子さまが語られたお言葉を本にまとめた『橋をかける―子供時代の読書の思い出―』（文藝春秋）です。

子どもたちの希望と平和のために語られた、美しいお言葉の中から一部をご紹介します。

…本という橋の上で、日本の古代の人々とも、また、異国の人々とも出会い、その人々の思いに触れていました。  
(「パーゼルより」)

私にとり、子供時代の読書とは何だったのでしょうか。

…それはある時代には私に根っこを与え、あるときには翼をくれました。

…読書は私に、悲しみや喜びにつき、思い巡らす機会を与えてくれました。

…そして最後にもう一つ、本への感謝をこめてつけ加えます。読書は、人生のすべてが、決して単純ではないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ。人と人との関係においても。国と国との関係においても。

(「橋をかける」)

## 子ども読書活動推進コーディネーター 林 篤子



戦時中に少女時代を過ごされた美智子さまを支えたのは本でした。周囲との関係に不安を覚えたり、折り合いのつかない自分自身に疲れたりしたとき、何冊かの本が身近にあったことで自分を励まし、歩き続けることができたとおっしゃっています。

本の力は素晴らしいですね。

『橋をかける 子供時代の読書の思い出』（文藝春秋） 単行本版  
情報館の所蔵本は単行本版です。

※「パーゼルより」が収録されているのは文庫版のみです。



## 6月16日(日)は家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。

## 新着資料紹介 4月21日～5月20日分

### 【一般図書】

●『えほんとりっぷ』ふわはね／著 世界文化社(総記024フ) ●『93歳でわかったこと』細井恵美子／著 興陽館(シニアライフ 159ホ) ●『ひとりみの日本史』大塚ひかり／著 左右社(歴史 210.0オ) ●『新おとめ六法』上谷さくら／著 KADOKAWA(川西 320カ) ●『天空を旅する星空図鑑』エレナ・パーシヴァルディ／著 翔泳社(中里 443バ) ●『若杉ばあちゃんの今日も明日も身軽な暮らし』若杉友子／著 すばる舎(松代 590ワ) ●『ニッポンはじめて物語』北辻利寿／著 東京ニュース通信社(産業 675キ) ●『信じ切る力』栗山英樹／著 講談社(芸スポ 783ク) ●『観光客を助ける英会話』浜崎潤之輔／著 アルク(言語 837ハ) ●『見る・知る・学ぶ名所旧跡でぐぐっとわかる日本文学』ロバート キャンベル／監修・解説 JTBパブリッシング(文学 910.2ミ) ●『佐渡絢爛』赤神諒／著 徳間書店(松之山 913.6ア) ●『ゆうびんの父』門井慶喜／著 幻冬舎(日文 913.6カ) ●『二人目の私が夜歩く』辻堂ゆめ／著 中央公論新社(日文 913.6ツ) ●『さよなら凱旋門』蜂須賀敬明／著 文藝春秋(中里 913.6ハ) ●『冷蔵庫のように孤独に』村木美涼／著 早川書房(日文 913.6ム) ●『ハコウマに乗って』西川美和／著 文藝春秋(日文 914.6ニ) ●『出会いはいつも八月』G. ガルシア＝マルケス／著 新潮社(外文 963ガ)

### 【児童図書】

●『世界一ひらめく！算数&数学の大図鑑』アンナ・ウェルトマン／文 河出書房新社(児童一般 410ウ) ●『小学生の野菜づくりブック』藤田智／監修 家の光協会(中里児童 626シ) ●『ブロックでなんでもつくる！ビルダーの頭の中』三井淳平／著 偕成社(児童一般 759ミ) ●『ぼくのねこポー』岩瀬成子／作 PHP研究所(児童日文 913イ) ●『ミリとふしぎなクスクスさん』戸森しるこ／作 ポプラ社(川西児童 913ト) ●『なんとかなる本 2』令文ヒロ子／作 講談社(児童日文 913レ) ●『あなたの言葉を』辻村深月／著 毎日新聞出版(ティーンズ 914ツ) ●『だっこだっくらっこ』植垣歩子／絵 アリス館(赤ちゃん絵本 Eウ) ●『ようかいむらのここほれしおひがり』たかいよしかず／作・絵 国土社(川治児童 Eタ) ●『あるくバスでいくん』深見春夫／著 文芸社(松代児童 Eフ) ●『うちゅういちのたかいたかい』ホッシーナッキー／作 中央公論新社(松之山児童 Eホ) ●『しごとはどうぐ』三浦太郎／作 偕成社(絵本 Eミ) ●『野球しようぜ！』大谷翔平ものがたり 山田花菜／絵 世界文化ワンダーグループ(絵本 Eヤ) ●『チュールリップさいた』よしむらめぐ／絵 Gakken(絵本 Eヨ)

### 【地域資料】

●『越佐ふるさと峠みち』関田雅弘／著 新潟日報社読者局出版企画部(地域 N291セ) ●『新潟日帰り温泉パラダイス 2024-2025年版』新潟日報メディアネット(新潟ガイド N291ニ)

# 蔵書点検 休館日のお知らせ 6月10日(月)～17日(月)



蔵書点検は、情報館・分室に所蔵する資料の一斉点検です。約26万点の全資料を確認し、行方不明の資料を探す、蔵書構成を見直すなどの大切な作業を行います。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



●休館中の返却は、情報館、川西・松代・松之山分室ではブックポストをご利用ください。CD・DVD・ビデオや大型絵本、相互貸借資料は、休館明けの6月18日(火)以降にカウンターでお返しください。それ以外の分室では各公民館の窓口へ直接お返しください。

## 【令和6年度 情報館主催 パソコン講習】

### 初心者コース〈シニア向け〉

電源の入れ方、文字入力やマウス操作の方法、インターネットの楽しみ方を学びます。

日時／6月25日(火)～7月4日(木)  
※毎週火・木曜日(全4回)  
午後2時～4時

対象／はじめてパソコンに触る人

受講料／5,000円

定員／先着15人

会場／情報館1階 コンピュータ研修室

申込み／専用チラシの申込用紙に記入してお持ちください。電話・FAXでもOKです。



## その他の催し

### ●明石学級写真コース 写真展示会

日時／6月20日(木)～26日(水) ※24日(月)は休館日  
午前9時～午後7時 ※26日は午後3時まで  
会場／ギャラリー 入場／無料

### ●教科書展示

日時／6月21日(金)～7月5日(金) ※24日(月)は休館日  
午前9時～午後7時  
会場／スロープ前 入場／無料

### ●十日町市身体障害者福祉センター ふれあい作品展

日時／6月28日(金)～7月4日(木)  
午前9時～午後7時  
※7月4日は午後3時まで  
会場／ギャラリー 入場／無料



### ●個展 北村フミ子

日時／7月6日(土)～7月10日(水) ※8日(月)は休館日  
午前9時～午後7時 ※10日は午後4時まで  
会場／ギャラリー 入場／無料

## 6月のおはなし会

( )内は対象

午前10時30分  
～11時

### ◆情報館

1日(土)／読み聞かせの会 どんぐり  
(幼児～小学校低学年)

8日(土)・29日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

22日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)

### ◆川西分室

15日(土)／

おはなしの会「ふきのとう」★スペシャルおはなし会  
(乳幼児～小学校3年生くらい)

※午前10時から、千手中央コミュニティセンター1階の会議室で開催します

### ◆松代分室

8日(土)／おはなしたんぽぽ(幼児～小学校低学年)



## 第89回名作読書講座

### 『田舎教師』田山 花袋／著(新潮文庫)

文学への大志を胸に秘めながらも、貧しい家庭に育った林清三は、寒村の小学校に代用教員として赴任します。華やかな文士たちに熱い関心を持ちつつ、同僚を見ては「まごまごしていると自分もこうなってしまう」と焦るものの、やがて憧れは薄れ、教員生活に埋もれていきます。

野心に燃えながら田舎の教師として短い生涯を終えた青年の出世主義とその挫折を、田舎町の風物や生活の中に描いた自然主義文学の代表的作品です。

日程／6月20日(木)  
午後7時30分  
～8時45分

会場／第1集会室

対象／中学生以上

定員／25人(申込み不要) 講師／庭野三省さん



## 閉架書庫を公開します

情報館の閉架書庫(へいかしょこ)には、8万点以上の資料が収められています。いつもは入ることができない閉架書庫を公開します。ご希望の方は、当日1階カウンターの職員へお声がけください。

日時／6月23日(日) 午後2時～5時

【今後の公開予定日】 ※予定は変更する場合があります  
7月21日(日)、8月18日(日)、9月15日(日)、10月20日(日)  
12月15日(日)、2月23日(日)、3月16日(日)

## 十日町情報館 開館時間・休館日

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 第2・第4月曜日(当分の間)

特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)

〒948-0072 西本町二丁目1-1

電話／025-750-5100 FAX／025-750-5103